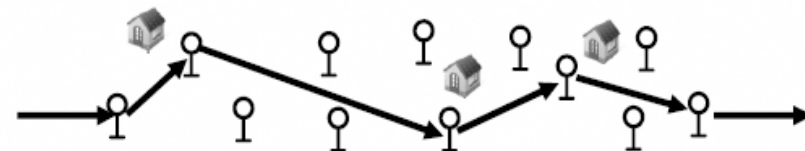


実証B デマンド型乗合タクシー実証実験の結果

①：実証実験概要

実施期間	2022年4月1日（金）～6月3日（金） 計40日間
運行形態	デマンド型の乗合運行
運行形態	自由経路ミーティングポイント型 ・運行ルートは定めず、予約に応じ所定のミーティングポイントを最短経路でつなぐ
運行ダイヤ	基本ダイヤ型（30分に1回の運行）
乗車定員	最大3名
利用者	事前登録者に限る
利用方法	1時間前までの予約を必須
料金	400円/人回 なお、実証実験で設定するエリアをまたぐミーティングポイント間の移動は800円/人回
道路運送法上の位置づけ	道路運送法21条 （国土交通大臣の許可を受けた場合等における、貸切バス事業者、タクシー事業者による乗合旅客の運送）
運行事業者	うるま市内を拠点とするタクシー事業者 4社



1 実証実験概要

①：実証実験概要

- 運行エリアを2エリア設定。指定乗降所（ミーティングポイント）を設定

【エリア1】

前原～赤道・江洲～沖縄北IC

運行時間帯：

始発 午前7:30
～最終 午後6:00

担当：

石川タクシー 日興タクシー

【エリア2】

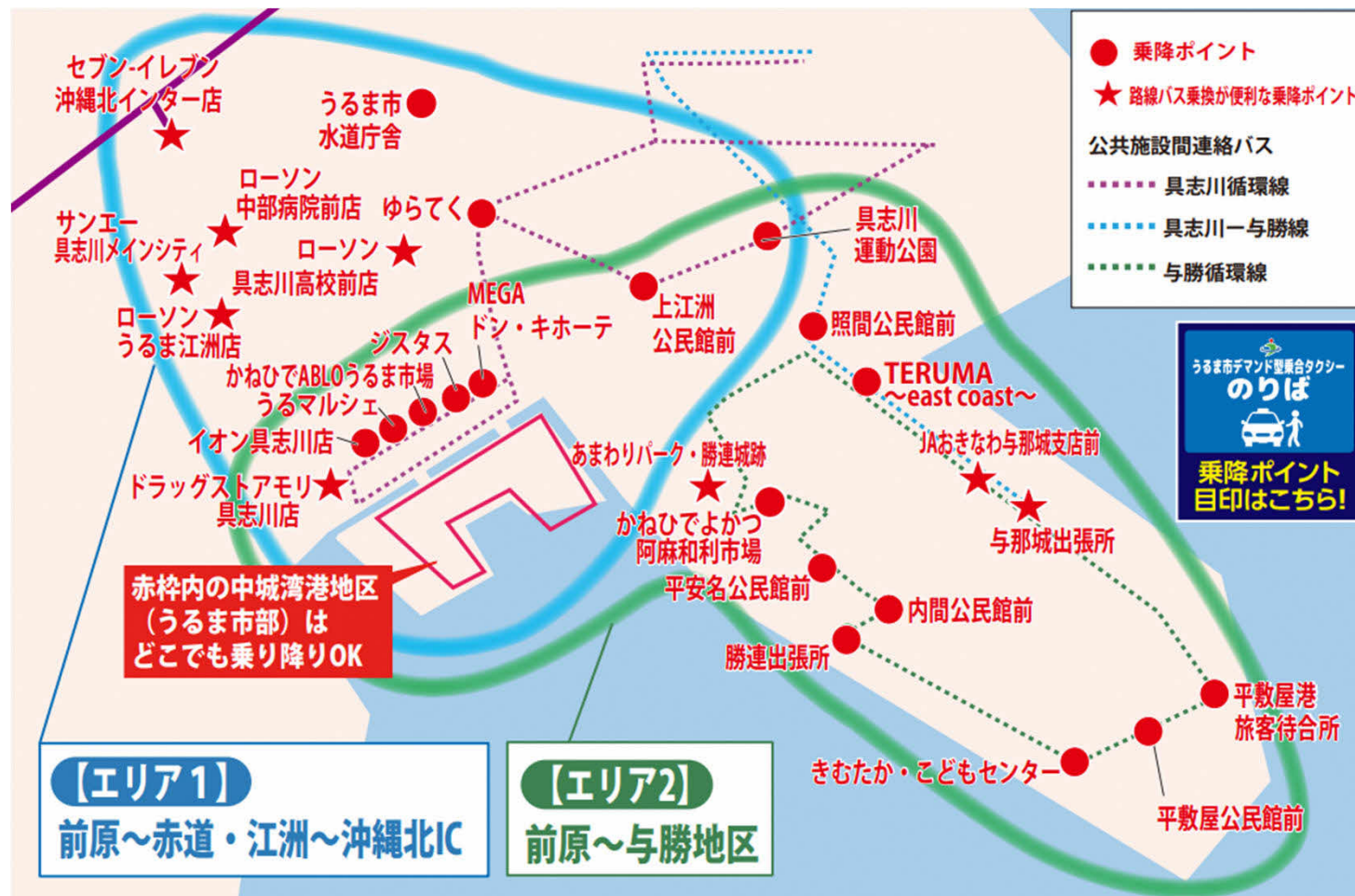
前原～与勝地区

運行時間帯：

始発 午後8:00
～最終 午後6:00

担当：

勝島交通 美星タクシー



【エリア1】
前原～赤道・江洲～沖縄北IC

【エリア2】
前原～与勝地区

料金

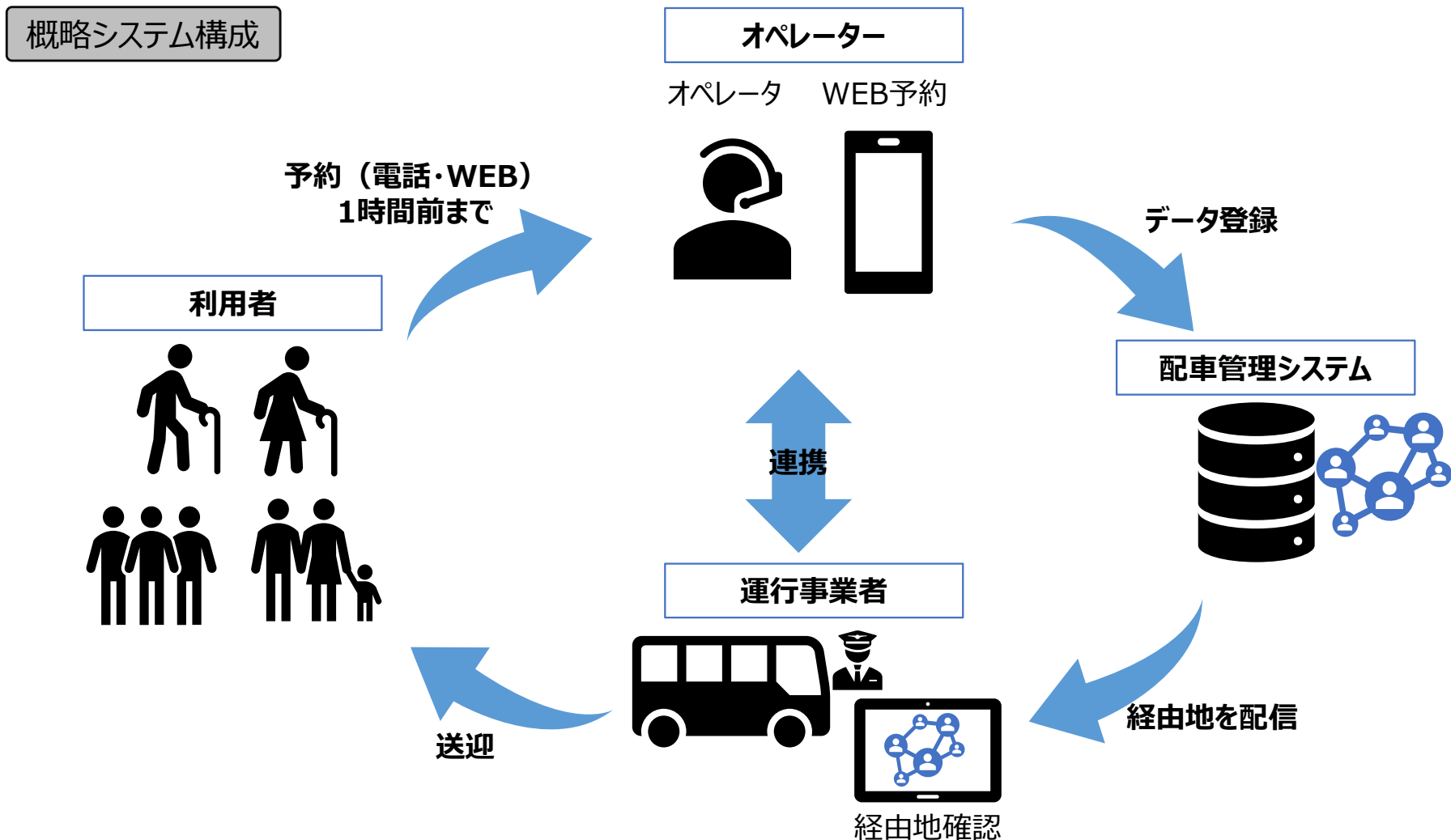
400円/人
エリア跨ぎ 800円/人

基本ダイヤ

午前7時	午前8時	午前9時	午前10時	午前11時	12時	午後1時	午後2時	午後3時	午後4時	午後5時	午後6時
—	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	—

②：予約システム

- 九州産業大学稲永研究室で開発したシステムを活用し運用。
- WEB予約および電話受付予約で対応
- デマンド型乗合タクシーにタブレットを貸与し、予約状況を表示

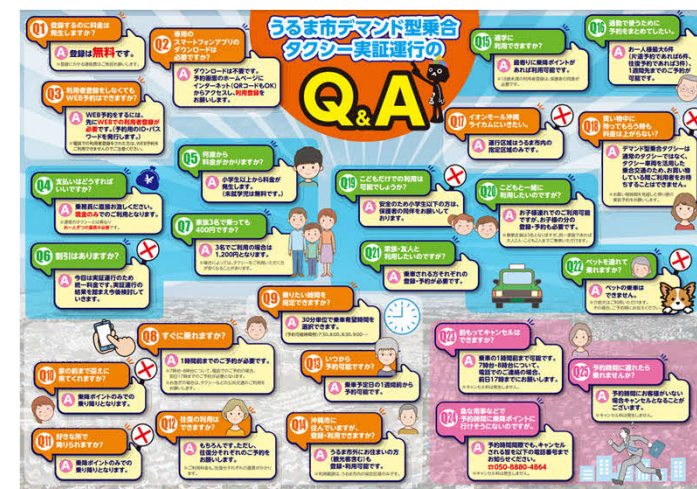


③：実施に関する広報・周知活動

- 実証運行の実施に関し、各種・周知広報活動を実施

【実施した広報活動】

- チラシ・ポスターの作成。庁舎、公民館等への設置・掲示
- 市報への掲載
- 民生委員等への説明の実施
- 中城港湾新港地区内企業へのメール等での周知
- 市ホームページでの広報

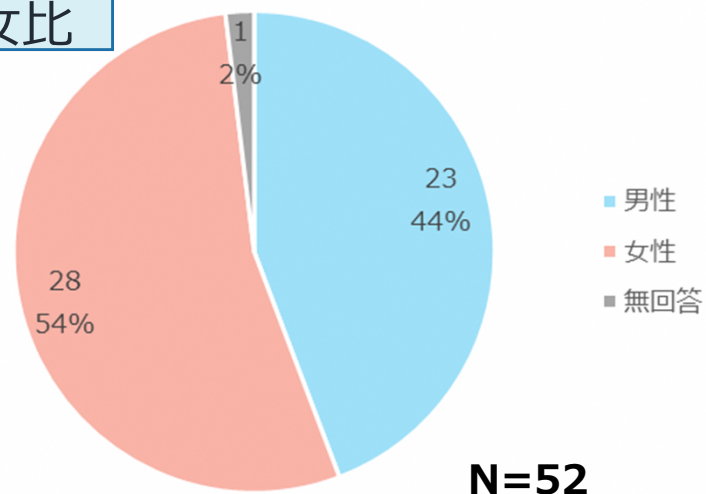


①：登録者数

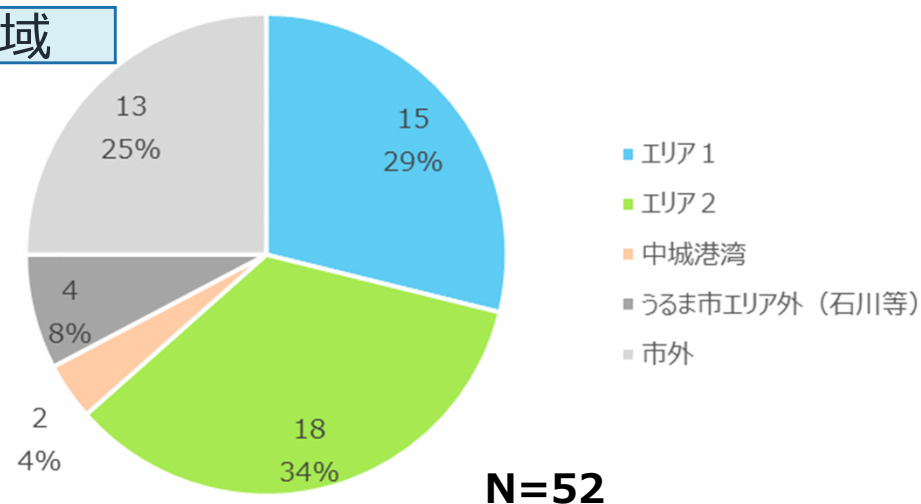
- 最終的な登録者数は52名。女性が多い傾向。30歳代が最多。
- エリア2（与那城・勝連地区）の登録が多い傾向

登録者数: 52名

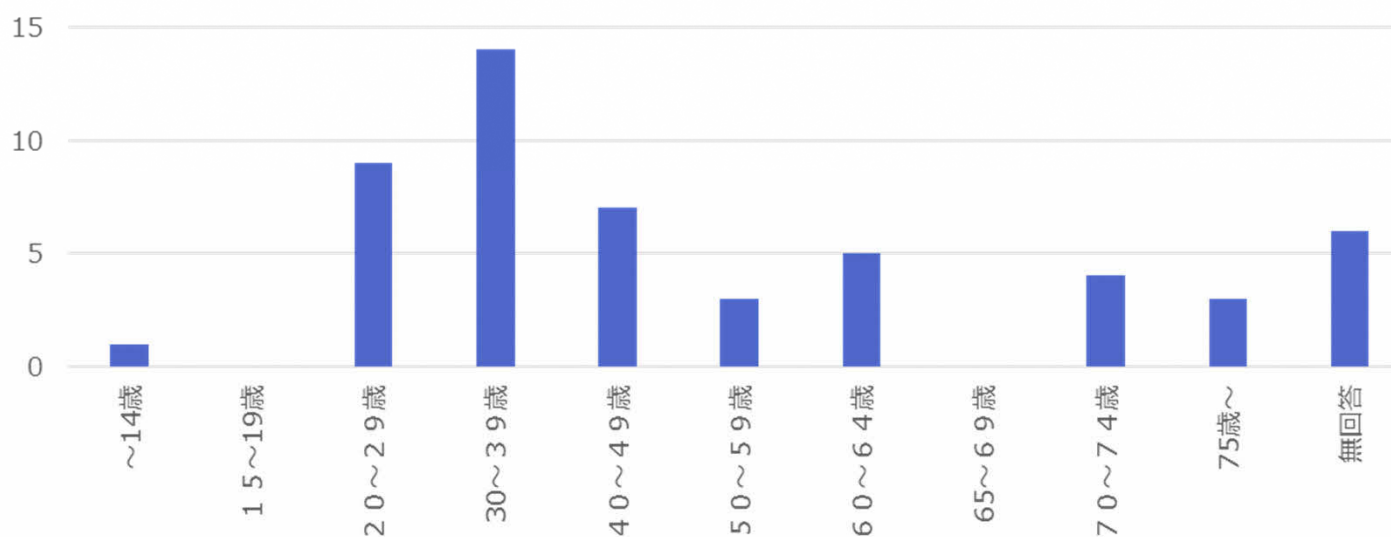
男女比



地域



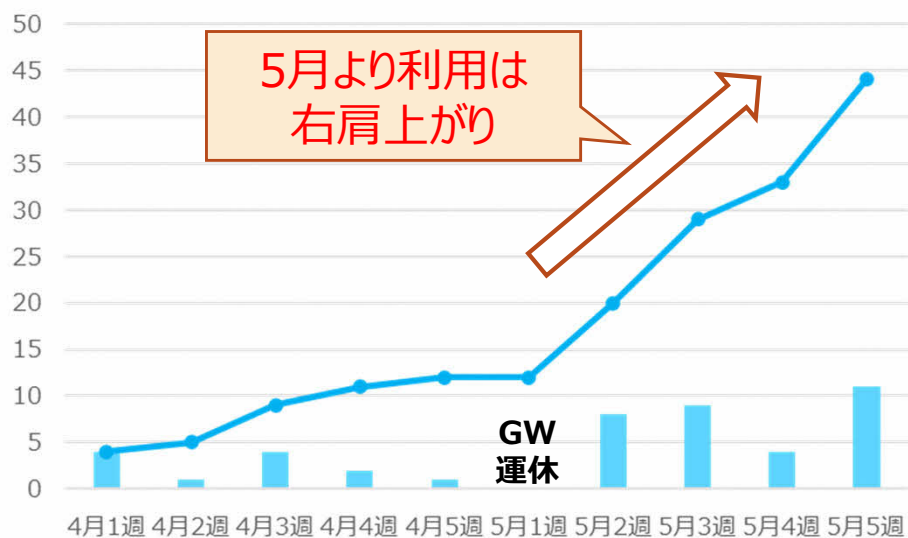
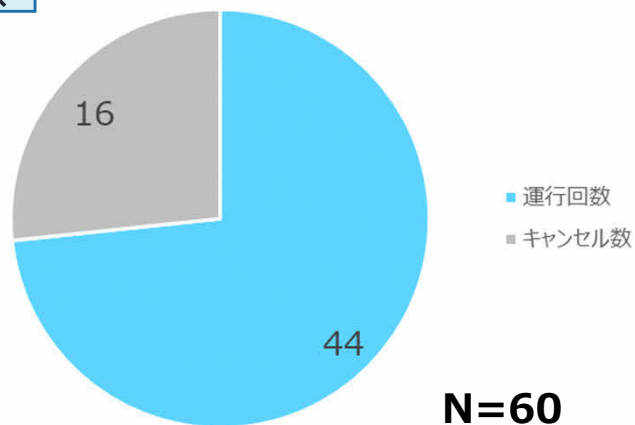
年代



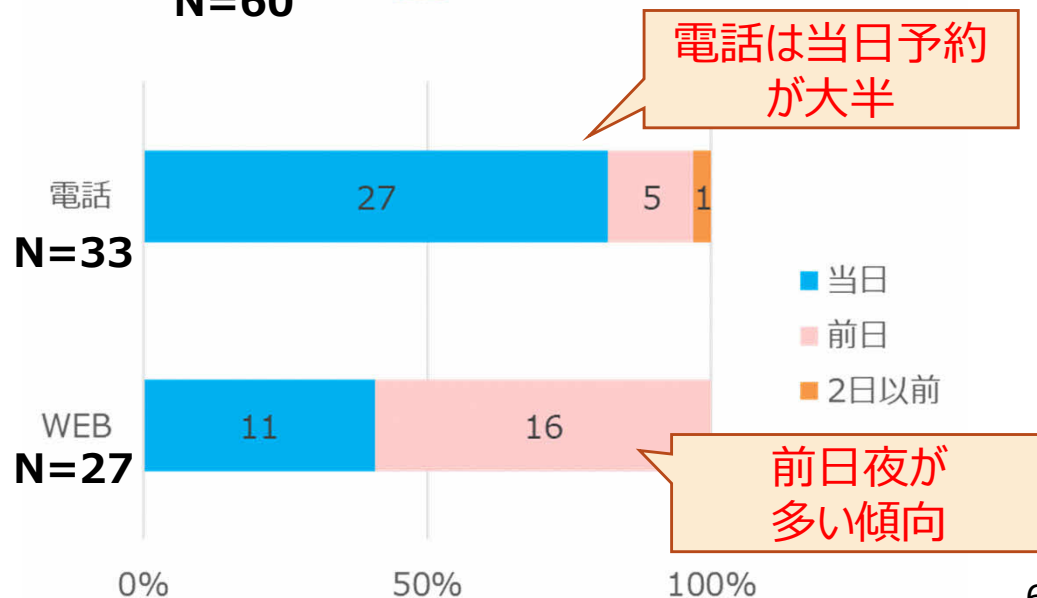
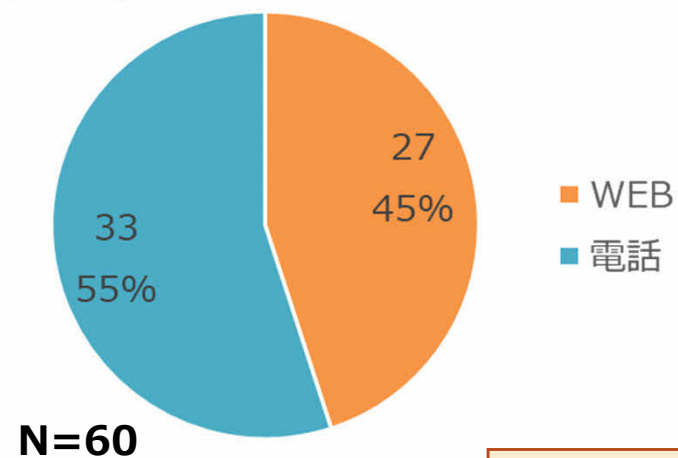
②：利用実績（運行回数と予約方法）

- 全体の予約数は60件、運行回数は44回。1.1回/日の利用。5月から利用数が右肩上がり。
- 予約方法は、電話の予約がWEB予約をやや上回る。電話予約は当日が多い傾向にあり、WEBは前日予約がやや多い傾向であった。

運行回数

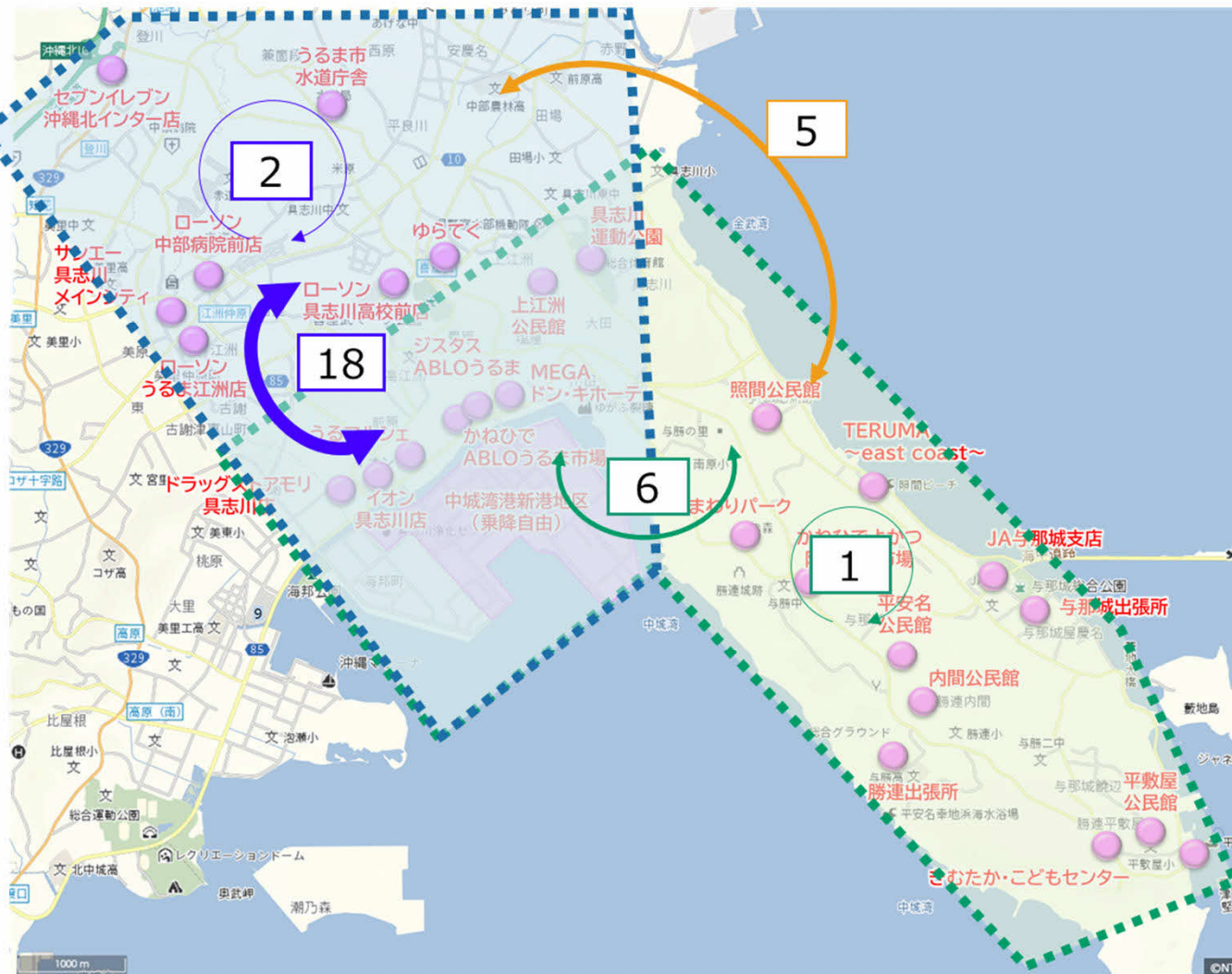


予約方法

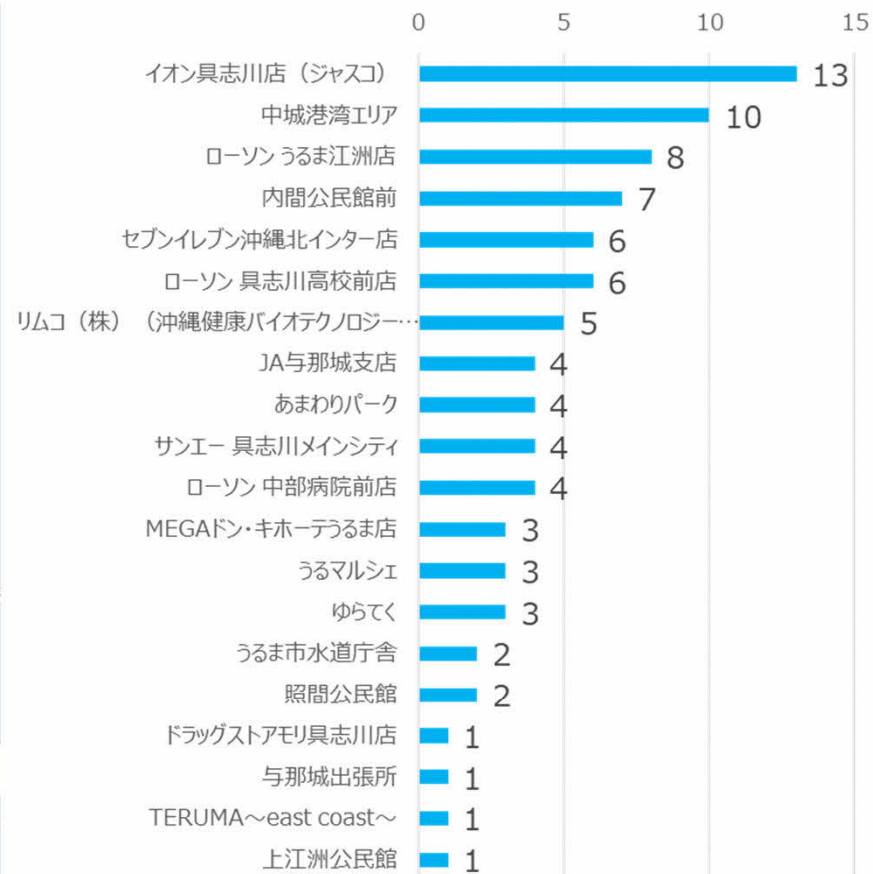


②：利用実績（OD）

運行実績



利用の多かったMTP



※発着地で集計

②：利用実績（OD）

【確認された利用特性】

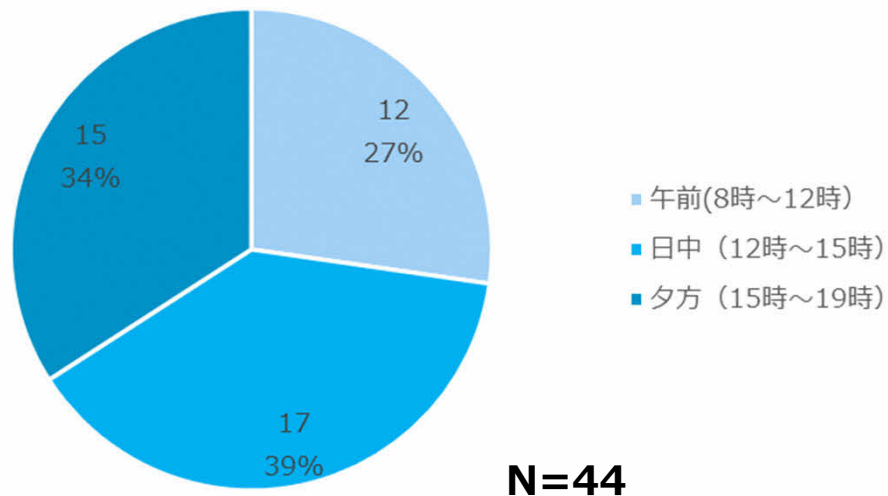
- ・高齢者のお買い物（イオン具志川店、うるマルシェへの利用）
- ・出張での沖縄北ICから中城港湾エリアへの移動
- ・与那城から中部病院までの通院 中学生の帰宅での利用



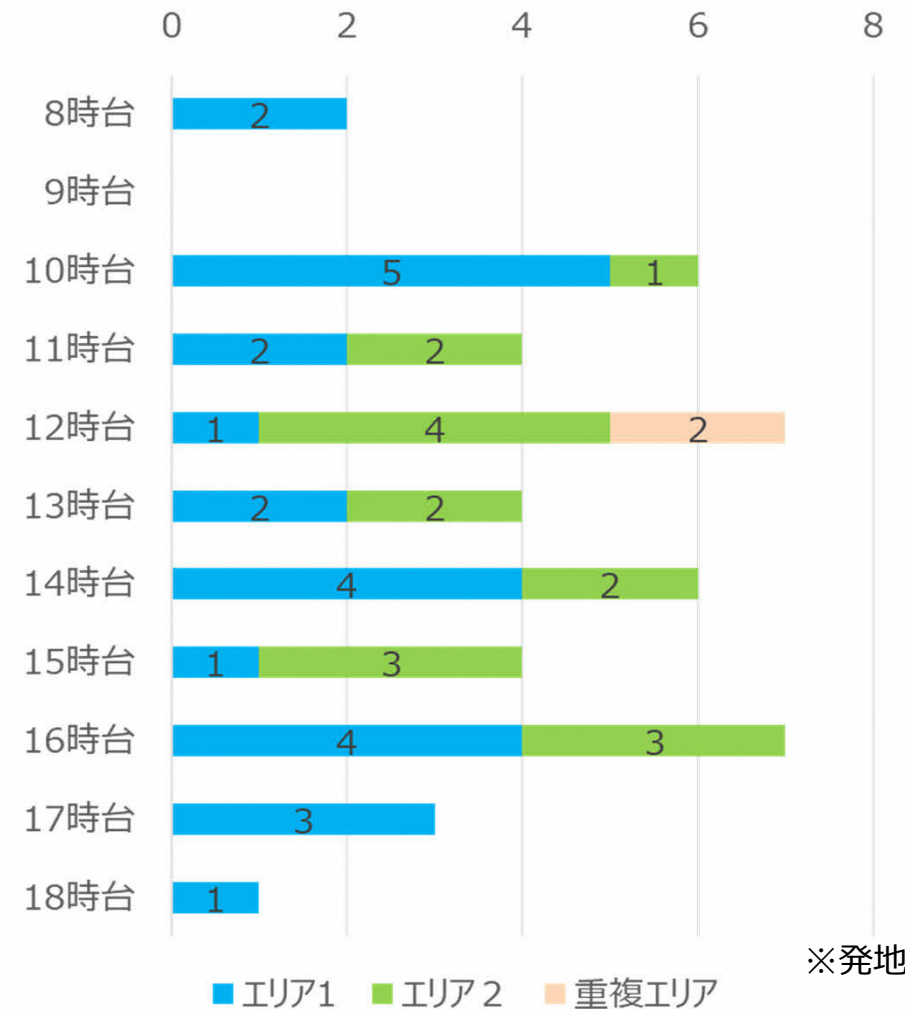
②：利用実績（時間帯）

- 顕著な傾向はみられないものの日中の利用がやや多い結果となった。
- 時間帯別、エリア別については、エリア1の午前中利用がやや多い傾向にある。

利用時間帯



エリアと利用時間帯

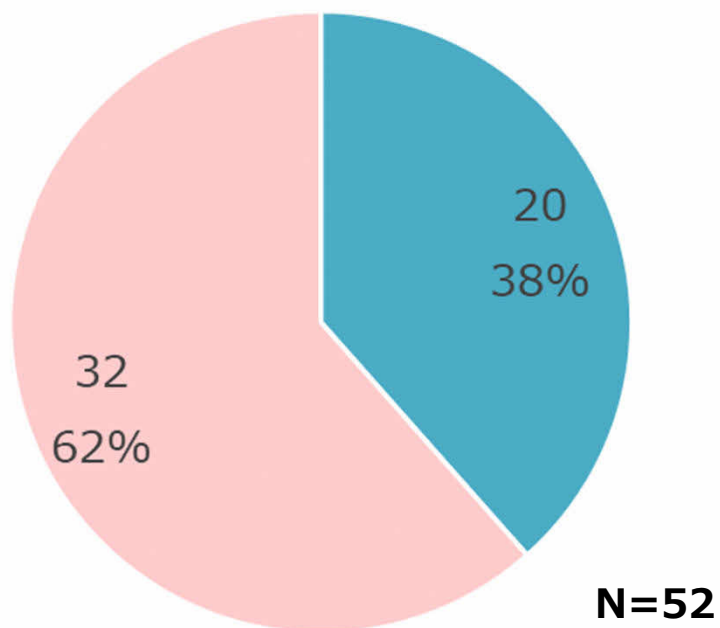


※発地で集計

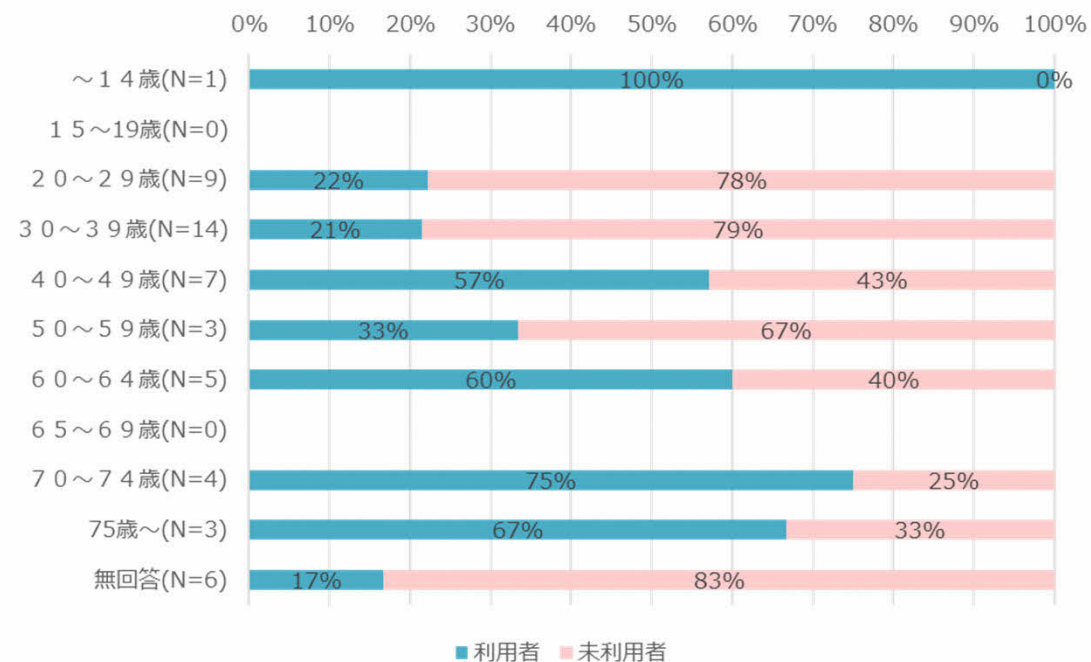
②：利用実績（利用者特性）

- 登録者数のうち、利用した方は約4割。約6割の方は、登録のみで利用がなかった。
- 年代別に利用者を確認すると、14歳未満を除き、30歳代以下の利用率が低い傾向にある。

利用率



年代別の利用率



③：利用者評価（利用者等からのご意見）

利用者から

- ジャスコやうるマルシェなどまで、直接いけるのはいいところ
※商業施設は、MTPが店の前まである
- 30分くらい前の予約がしたい
- 中部病院に行く際に、ローソンから歩いていく必要があるのが少し不便
- 他の方との乗合が気になる（できれば避けたい）

市民から

- 利用者登録の手間がかかる。
- デマンド型乗合タクシーの実験は知ってはいるが、ミーティングポイントまで集合が不便である。軒先まで迎えに来てほしい。

③：利用者評価（登録者アンケート結果）

【アンケート概要】 WEBアンケート及び郵送配布で実施

◇実施期間:2022年6月10日(金)～21日(日)

◇回答:17名

項目	結果概要
認知度	・知ったきっかけは、“市報”が最も多く、次いで“チラシ・パンフレット”
利用傾向	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「行きたい目的地が乗降所に指定されていたから」が最も多く、次いで「手ごろな料金設定であったから」「路線バスでいけない目的地に行けるから」が比較的多い ・利用目的は「通勤通学」「買い物」が大半 ・乗合タクシーが無かった場合の移動手段は「タクシー」や「路線バス」が多く次いで「自家用車（送迎）」であり、「自家用車（自分で運転）」という回答はなかった。 <p>【登録のみで利用していない方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自宅近くに乗降場がない」という回答が比較的多かった。
利便性	<p>【便利と思う点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「行きたい目的地が乗降所となっていた」が最も多く、次いで「自宅近くに乗降所がある」「事前予約で予定を組みやすい」が多い <p>【不便と思う点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「乗降所が限られている」「すぐに予約できない」という回答が比較的多かった <p>【全体的な利便性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「非常に便利」「少し便利」という回答が約80%であった。
将来的な利用意向	・本格運行後すぐに利用したい方が約60%であった。
相乗りについて	・相乗りは「気にならない」という回答が最も多かった。（気になるという回答が最も少なかった）

③：市民アンケート

【アンケート概要】 WEBアンケートで実施

◇実施期間:2022年6月17日(金)～21日(日)

◇回答:150名(具志川地区:88サンプル 与那城・勝連地区:11サンプル 石川地区:51サンプル)

項目	結果概要
普段の移動手段	・どのような目的においても自家用車での移動がほとんどである
認知度	・実証運行の認知度は、約20%。50歳代以上の認知度が比較的高い傾向。※1 ・知ったきっかけは、“市報”が最も多く、次いで“チラシ・パンフレット”
利用傾向	・知っていたが使わなかった理由は“普段、自家用車での移動が大半のため”が最も多い。
デマンド型交通へのニーズ	・使い方への買物(約45%)や通院(約40%)といった利用に使ってもよいと回答された方が比較的多い ・期待することは「手ごろな料金で移動できる(約61%)」が最も多く、「自宅の近くまで迎えに来てくれる(約34%)」「行きたい目的地に行ける(約32%)」が比較的多い
将来的な利用意向	・「使いたい」は約8%となり、「自家用車での移動が多いため、使う機会が少ないと思う(約37%)」と最も多く、「使わない(約15%)」と将来的な利用傾向は大きくない。その他、「行きたい目的地があれば使う(約20%)」「自宅の近くに乗降所があれば使う(約18%)」となった。 ・「使わない」以外の利用意向を示した方における利用開始時期は、本格運行後すぐに利用したい(約31%)本格運用後、1年以内に利用を始めたい(約42%)本格運用後、3年以内に利用を始めたい(約8%)免許返納後に利用したい(約18%)であり、本格運行後にすぐに使うと示した方は3割となった。
相乗りについて	・「気になる」「やや気なる」の合計の割合が約60%である

※1 石川地区在住者を除く値

目標値に対する実績値及び成果及び今後の検討課題

実績値

項目	実施内容	目標値	実績値
登録者数	・利用登録者数を目標値として設定	400人	52人
乗合率	・1回の運行における乗合人数。乗合率が高まるほど、効率の良い運行となる。	1.50	1.00
利用者数	・1日の利用者数を目標値として設定	15人/日	1.1人/日

成果及び今後の検討課題

- ・ 利用総量は少ないものの、高齢者のお買い物（イオン具志川店、うるマルシェへの利用）、出張での沖縄北ICから中城港湾エリアへの移動、与那城から中部病院までの通院、といった、計画時に想定した利用傾向はあった。
- ・ また、中学生の帰宅利用などもみられた。
- ・ 自家用車での移動が困難な方が利用された。また、市民アンケートにくらべ、利用者は相乗りが気にならない方が大半であった。
- ・ 一方で、①自家用車利用、ドアtoドアへの根強いニーズ、②利用登録の手間、③他の方との乗合を避ける傾向といった理由から、利用が大幅に想定を下回る結果となった。
- ・ 今後、市民、交通事業者との意見交換、協議を重ねながら、よりよい支援策について検討する。